

令和 2年 2月14日

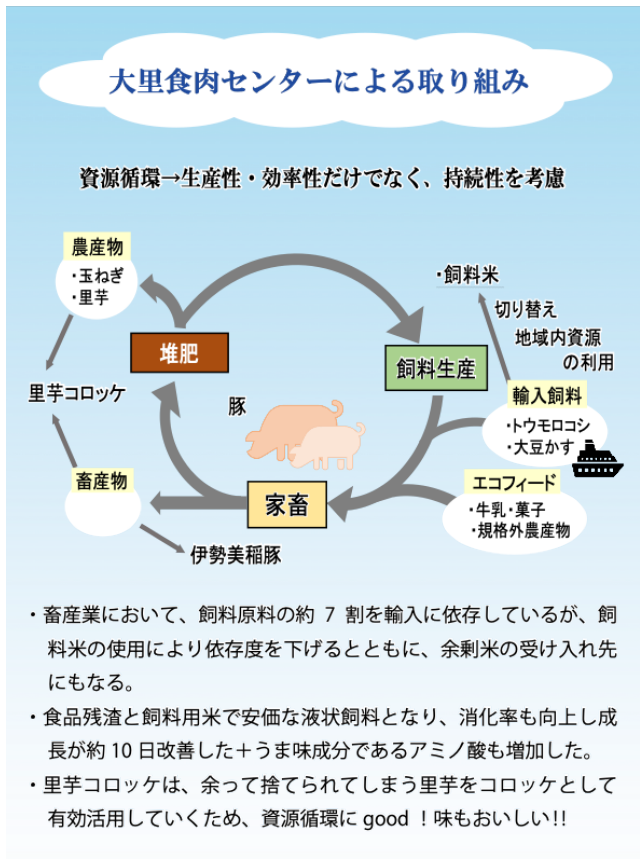
## 平成31年度 地域貢献活動支援報告書

地域イノベーション推進機構長 殿

所 属 人文学部  
氏 名 森 久綱

活動テーマ	エコフィードの利活用による地域酪農・畜産の振興
実施期間	平成31年 4月 1日 ~ 令和 2年 3月31日
活動内容	<p>(1) 具体的な活動実施内容</p> <p>18年度は農林水産省と地元養豚事業者を講師に招き、農業関係者や消費者のほか、本学部生と高校生を対象に、エコフィードをめぐる情勢と養豚事業者での取り組み内容についての学習会を開催した。学習会の対象者が限定されるという制約があるなか、60名程度の参加があったが、エコフィードや循環型社会に対する関心が高い層が中心となったことから、<u>19年度はより一般的な消費者を対象としたエコフィードおよび循環型社会に対する認知および理解の醸成を図ることを目的として活動した。</u></p> <p>一般的な消費者を対象としたエコフィードおよび循環型社会に対する認知および理解の醸成を図るため、<u>活動の中心を来場者の多い本学の大学祭でのエコフィード研究成果報告会開催</u>とした。また、大学祭であることから、本研究室の学生（主に3年次生）を中心とした取り組みとし、<u>三重県農林水産部のほか、津市で養豚事業・畜産物販売を営む（株）大里畜産様と（株）大里食肉センター様の協力</u>を得ることとした。</p> <p>1. 県庁職員による講義（2019年7月）</p> <p>学生の理解醸成を図るため、本学1年次生を対象とした「地域から考える文化と社会」にて、三重県農林水産部より講師を招き、「循環型社会への取り組み」について三重県での政策および取り組み内容についての講義をいただいた。</p> <p>2. 学部生によるフィールドワーク（2019年7月～10月）</p> <p>本研究室の学生による <u>三重県農林水産部および（株）大里畜産様への訪問調査</u>を行い、具体的な政策および取り組み内容についての理解と整理が行われた。訪問調査での調査結果については学生が取りまとめ、その成果はエコフィード研究成果報告会当日に配布されたパンフレットに集約されている。訪問調査で得られた資料や写真・動画のほか、行政資料（各種統計など）などを活用し、広報資料用として動画も作成し、エコフィード研究成果報告会当日に放映することとした。</p> <p>1) 三重県農林水産部 : エコフィード関連政策ヒアリング調査</p> <p>2) 株式会社大里畜産 : 養豚業者でのエコフィード利用状況調査</p>

3) イベント関連資料作成：報告資料等作成（配布用リーフレット，放映用動画）



## 大里食肉センターと三重県庁 による資源循環への取り組み

三重大学森ゼミナール × 大里食肉センター  
協力：三重県エコフィード研究会

資料：イベントでの配布・説明用資料（一部抜粋）

### 3. 大学祭でのイベント開催（2019年11月）

学生によるエコフィード研究成果報告だけでは一般消費者の参加を促すことが難しいと判断されたため、(株)大里食肉センター様の協力を得て、企業ブース（コロッケ販売）でのエコフィード研究成果報告会開催告知と「しゃぶしゃぶ試食会」とのセットでエコフィード研究成果報告会を開催する運びとなった。

三重大学日本経済論ゼミ × 大里食肉センター

# しゃぶしゃぶ 試食会開催!!

Booooo!!

**日時：11月2, 3日（土, 日）14:00～**  
**場所：生物資源棟 113 教室**

大里食肉センターの方に豚の生育から商品になるまでの過程を説明していただけます。  
その後、しゃぶしゃぶ試食会を行います!!

※先着 30 名程度を予定していますので  
お早めに来てください!!

協力：三重県エコフィード研究会

資料：イベント告知チラシ

## (2) 地域への貢献（地域の発展・活性化への寄与、広がり）

大学祭でのイベント開催に際して、本事業の共同実施者である三重県農林水産部のみならず、三重県エコフィード研究会会員である株式会社大里畜産様と株式会社大里食肉センター様との共同でイベントを開催することができた。初年度であった18年度においては、シンポジウムとして企画・実施したため、対象者が限定的であった。しかしながら、来校者数10,000名を超える大学祭でのイベント開催での効果は大きく、2日間の開催でおよそ1,500人程度にパンフレットが配布されている。単なるイベント告知とパンフレット配布ではなく、来校者それぞれに対して、学生が直接パンフレットを配布しながら、エコフィードへの取り組み意義や、三重県内での取り組み事例の概要紹介を行った。概ね一人（ひと組）あたり3-5分程度の時間を要している。これらを参酌すれば一般消費者におけるエコフィードの認知・理解醸成には十分な意義があったものと考えられる。また、しゃぶしゃぶ試食会とエコフィード研究成果報告会の開催は1日1回の計2回開催され、参加者数は60名を超えている。部屋の制約から1回30人が限界であったため、開催時刻の30分前で締め切りとせざるを得ないほどの盛況ぶりであった。株式会社大里食肉センター様からは、「想定の3倍程度の規模となった」との評価を得ている。このほか、「理解しやすい報告」であったのほか、「エコフィードの意味を初めて知った」「地域にこのような（エコフィード）取り組みがあることを知らなかった」など、参加者からは好意的な意見が寄せられ、本年度の事業目的は概ね達成されたと判断される。

## (3) 共同実施者との連携状況

三重県農林水産部との協定に基づき、県主催事業と本事業との連携が図られている。具体的には、県が研究会等、本事業はイベント等と機能分担が図られている。

## (4) 大学の教育・研究成果のかかわり

本年度は、教育面での取り組みに重点を置き、学生が主体となる取り組みとした。座学（県庁職員による講義）に加えて、フィールドワークと成果報告を行うなど、PBLの側面が強い取り組みとなっているほか、SDGsについて、地域での具体的な取り組みから理解の醸成を図ることができた（2「飢餓をゼロに」と12「つくる責任 つかう責任」）。本学はSDGsへの取り組みを強化しているところであるが、これに強く合致した実践的教育となっている。

## (5) イベント等開催実績（名称、実施場所、参加人数等）

名称：1) エコフィード研究成果報告  
（集客を図るため「しゃぶしゃぶ試食会」として告知）  
2) エコフィード周知活動  
来校者に対しての学生によるパンフレット配布・概要説明

場所：三重大学

共催・協力：三重県農林水産部，株式会社大里畜産，株式会社大里食肉センター

人数：研究成果報告 60名，概要説明 1,500名

日時：2019年11月2日，3日 10:00-16:00

1) エコフィード研究成果報告およびしゃぶしゃぶ試食会



2) 学生による大学祭でのエコフィード周知活動







(いずれの写真についても、被写体となった来客より報告書等への掲載についての許諾を得ています)。

#### (6) これまでの取組みによって得られた具体的な成果について

前年度は限定的な参加者を対象としたシンポジウムであり、エコフィードの利活用促進と、そのための消費者における認知・理解の醸成という点では成果は限定的であった。また、講師として株式会社大里畜産代表取締役木戸氏を招いたが、地域との連携は主に県との連携に限定されていた。しかしながら本年度は1,500名を超える大学祭来校者(一般市民)に対して、エコフィードの周知を図ることができ、簡単なアンケートでは購買活動において、これまでエコフィードについて認知・理解していなかった来校者から「今後意識して購買したい」との意思も確認された。これが一つの成果である。また、地域企業との強固な協力関係を構築することができたことも成果の一つである。このほか、学生がSDGsについてPBL的手法で学習できたことも成果としたい。

ただし、本年度のイベントでは、人数の多さと時間の制約から詳細なアンケート調査等を実施するまでには至らなかった。次年度での活動については、本年度と同様に大学祭でのイベント開催(既に協力者である株式会社大里畜産様および株式会社大里食肉センター様からは同意を得ている)を計画しているが、同時にアンケート調査実施のための人員配置を見直すなどして、イベントでの成果を具体的な調査結果として県ならびに地域企業に還元できるようにしたい。また、地域ならびに高大連携を強化するため、次年度には初年度のシンポジウムに積極的な参加があった高校などへのイベント参加を促し、SDGsの視点からより広範な来校者を対象としたイベントとしたい。